



シルバーだより

No. 347
令和元年9月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 心と頭で旅をする —

名誉学長 原田 治子

心のおもむくままに文章を書くのは好きですが、シルバーだよりの巻頭文となると気が重くなり筆がすすまない。それは、学生のみなさんに「ああそうか」と感じていただけるものが書けるかどうか自問自答して、すんなりとした気分では書けないからです。そこで考えたことは。

学生のみなさんと接する機会が少なくなった者の巻頭文は、ピンボケになりがちです。常々学校運営に携わっている、包容力豊かな岡田理事長、原則を重んじ緻密な木村学長、二人を支えている望月学長代行。この方たちの巻頭文は誰もが求めています。更に加えて、直接学習指導にあたっている講師、目立たないところで学校を支えている役員、創意工夫をこらしてシルバーだよりを創り上げている広報委員。この方たちの巻頭文が実現すれば、学生のみなさんにとって、シルバーだよりはもっと身近で、親しみのあるものになるのではと思います。いかがでしょうか。

最近、心と頭での旅がふえました。腰痛、視力の衰え、脚のよろつきなど、体の故障で外出がうっとおしくなったからでしょう。長く生きていれば、紡ぐ想い出物語や、描き出す光景も豊富になります。その旅の道すがらは楽しくもあり、淋しくもあり、悲しくもあり。

3歳になって間もなく弟が生まれ、ひとりぼっちで寝かされました。はじめのうちは不安でしたが、いつの間にか「夢見る幼児」になり、一人でいることが楽しみになっていました。横浜港からの汽笛。あのクリーム色の大きな船が出発するんだ。どこの国へ行くのかな。大きなガラス窓から見える空は、工場の溶鉱炉の光が映えて、次第に赤みを帯びていく。日ごとに少しずつ変化していく月の形。満月の夜は空想の世界がぐんと広がる。「満月の中ではウサギが餅つきをする」。「竹取物語のカグヤヒメは月の世界に帰っていった」。ゆっくり時間をかけて話してくれた母。夢見る幼児は、ウサギがついたお餅をカグヤヒメは大よろこびで食べているんだろうな。いつしか私の中では、満月のウサギとカグヤヒメは親しい友達になっていました。



ボンボン時計が9時を打つと鬢(びん)つけ油の香り。私を見守りに来る母の匂いです。髪をきっちり結び上げ、半襟をつけた着物姿の母。寝たふりをして、部屋を出ていく母をおよそ2年ほど見続けていました。お正月には百人一首を朗々と読み上げてくれた母の声もなつかしい。(心と頭の旅第一話おわり)

からだが不自由になったら心と頭で大いに旅をしましょう。

◎平成 25 年に作成されました『昭和の記録』より 1 編掲載致します。

《《 戦争の体験回顧録 》》

14 班 伊藤 慶子 (平成 22 年 9 月 記)

私達昭和初期生れは、物心ついた頃には戦争の時代に入っていったような気がします。昭和 12 年 7 月、支那事変が勃発しました。小学 3 年生頃でした。学校行事で出征兵士を送る会が度々あり、日の丸の旗を持って参加致しました。召されて行く方々は、お国の為にと万歳の声に送られる、そんな日が続きました。

大日本国防婦人会の人達もモンペ姿にタスキを掛けて、兵隊さん達が無事に帰還出来ますようにと、千人針の腹巻を作り武運を祈り送るため、一人一人に呼びかけて晒の生地近千個の玉結びを刺して頂くのに大変だったようでした。寅年生まれの方は、「虎は千里行って千里帰る」と云われ、自分の歳の数だけ玉結びを作ることが出来るので大変喜ばれたようです。大東亜戦争も激しくなり物資も不足して、金や銅やお寺の釣鐘まで供出したようでした。家庭の必需品や食料品も配給制度となり、買物をするのに点数の切符が配布されました。



「欲しがりません、勝つまでは」は国民の合言葉でした。私の兄にも召集令状が来て出征致しました。数日後兄から戦地に行くとの知らせを受け親と一緒に数時間かけて面会に行きました。好物だったものを渡し 2 時間位話をして、別れる間際に明後日出発すると告げられ後ろ髪を引かれる思いで帰りました。その後兄から連絡も無く、家族は今何処にいるのか心配する毎日でした。

そんな矢先、学徒動員で出ておりました私の従兄弟が、神風特別攻撃隊として戦場に向かい名誉の戦死を遂げました。2 階級特進で少尉となりわずか 20 歳でした。叔母の落胆はそれは大変な事でした。悲しみのうち戦禍は悪化する一方で、私達も学校より挺身隊として軍需工場に行きました。配属された部署は勤労課工賃係と云う所でした。人手不足でしたのですぐ指導を受けて事務の仕事につき、工場で働く工員さんの給料計算を致しました。当時はソロバンでの計算で、給料日前に現金を封筒に入れるというとても忙しい緊張の日々でした。手提げ金庫はいつもそばに置いておりました。ある日突然空襲警報が発令され、敵機接近との事で、慌てて事務所の外に避難する時、手提げ金庫を抱えて逃げる途中で敵機が頭上に十機以上も並んで飛んで来て機銃掃射を受け頭をかかえて地に伏せました。今にも背中に弾が突き抜けるのではと、びくびくして生きた心地がなく、その時の恐ろしさは今も脳裏にこびりついています。

東京の空襲も激しくなり、浅草の姉の家族が疎開してまいりました。幸い私の家は農家ですので食糧にはあまり困りませんでした。男性は少々身体が小さな人も皆招集され、私の家で長い間農業を手伝っていたおじさん迄出征致しました。日本も余程大変になって来たなあ、と父が呟くのを聞いた覚えがあります。当時燃料も不足していて木炭自動車走りバスの後ろから煙が出たりしていました。私達もバスで通いました。上司の方に色々学びました。当時一般の工員さんの給料は一か月 40 円前後のようでした。役職のある方で百円以上の方もいらっしゃったようでした。物価も安かったのですが、今振り返ると本当に大変な時期でしたが、皆愚痴もこぼさず老若男女お国の為と頑張ったと思います。浅草の姉の家も 3 月 10 日に戦災に逢い全焼し、本当に無残で見る影もなくなってし

まったと義兄がこぼしておりました。

各都市が次々と戦災の被害を受けてその方面の空を眺めると真っ赤というか、随分と焼かれている様子が伺い知れて気の毒に思われました。

広島・長崎と原爆が落とされ大変な被害を受けてやっと 8 月 15 日終戦となりました。暫くして姉夫婦も東京の焼け跡を見に行き、見渡す限り焼け野原の余りのひどさに啞然として立ちすくんでしまったと話していました。私達も軍需工場から解放されて戻りました。本当にあの当時は落ち着いて勉強も出来ず社会に振り回されていました。私の兄も出征して 4 年数か月音信不通でしたが昭和 21 年 12 月 26 日帰還致しました。家族一同ほっと致しました、本当に長い戦いでした。

今こうして元気にシルバー大学で楽しく勉強出来ます事に感謝しつつ、再びあのような事が起こりませんように、今の平和の世が続くことを祈ります。

《《 パソコン教室を担当しての感想 》》

パソコン教室助手 栗原 博

昨年、望月先生が声をかけて下さり三年ぶりに教室に復帰させて頂きました。講義内容が、ペイント等を利用したコラージュ作品作り(応用Ⅰ)やパワーポイント・ムービーメーカーを利用した動画作品作り(応用Ⅱ)とレベルアップになり、分かり易く説明出来るか不安でしたが、顔馴染みの学生さんが質問など気さくに声をかけて下さり、大変助かりました。

また、シルバー大学の運営には全くの無知でしたので年間の行事を把握したく、開講・入学式、講師会、学園祭、閉講・卒業式等、体験させて頂きました。その折、役員・講師の方々の熱心な活動ぶりを拝見・拝聴し、活力をいただいた一年でした。



今年は元号も新たになり、望月先生の良きアシスタントとして少しでもお役に立てるよう学生さんと一緒に勉強し、健康に留意しつつ努めたいと思っています。

《《 社会科見学教室より 》》

社会科見学教室助手 堀内 邦雄

こんにちは、社会科見学教室の堀内と申します。当教室は今年度 10 年目になりました。学生は、今年度の名簿を拝見したところ約 100 名（今年度在籍者＋過去年度の在籍者）の方達を数えました。また、見学(訪問)個所はバス旅行 5 回を含めて延べ 100 個所（複数回の所あり）にのびりました。

学生数も当初 35 名から年々増えまして現在 66 名です。従いまして見学個所の選定に大変苦慮しているのが現状ですが、常に新しい所に出かけて“見る・知る・学ぶ”をモットーに実践しております。最近話題の認知症予防の一環としてコミュニケーション作りの在り方を、大勢の仲間と歩くこと・話すこと・食べることを重点に、元気に、無事故で楽しい思い出づくりに貢献していきたいと思えます。

最後に健康であることは、いかに人とのネットワークを増やし、繋げるかに掛かっていると考えます。今後共よろしくお願い致します。

9月の行事予定

期日	行 事	講 師
27日 (金)	第三回 合同講義	
	ピアノと朗読のコラボレーション ことばとメロディを花束にして	朗 読：池田 洋子(朗読教室講師) ピアノ：三枝三枝子(器楽教室講師)
	《朗 読》	《ピアノ演奏》
	「悲 劇」 宇野千代作	Lemon 米津玄師
	「転 生」 志賀直哉作	ノクターン作品9-2 ショパン
	「おかあさんの木」大川悦生作	エリーゼのために ベートーヴェン
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 開演：午後2時（会場：1時半）		

◆◆◆学園日誌 7月・8月◆◆◆

7月10日 常任委員会・役員会

7月17日 講師会

7月26日 陶芸教室 令和2年度日程表作成
(教室清掃依頼)

7月31日 学園祭茶菓子券準備

8月1日 社協：福祉団体運営助成に
伴う書類作成

8月20日 広報委員会

20日 荒川区「まるごとシニアガイド」
掲載原稿作成

26日 学園祭共催依頼書作成

26日 学園祭区報掲載依頼書作成

30日 シルバーだより347号作成

第18回 荒川区高年者芸能大会について

開催日時：10月10日(木) 開演：午前9時45分～午後4時半

開催場所：サンパール荒川 大ホール

シルバー大学より 輪踊り民舞教室 参加



※事務局だより※

① 学園祭について：期日10月18日～20日(金土日)の3日間

会場：ムーブ町屋3階及び4階ギャラリー

9月以降、各教室は展示作品や発表の準備等宜しくお願い致します。

◎茶道教室発表は19日(土)となります。茶菓子券は1枚¥300です。
(教室毎にご集金の上、10月2日(水)の役員会会場にて会計担当へ
お渡してください。)

◎陶芸教室チャリティは20日(日)となります。

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

(ホームページアドレス) arakawa-silver.com/

室長・田原